

株式会社アセットアプレイザル静岡
代表取締役・不動産鑑定士 木村 満義
TEL:053-413-5855 URL: <http://www.asset-appraisal.co.jp>

アセットアプレイザル通信

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も「より良いサービスを、より早く！」をモットーに、皆様のお役に立てるよう、全力を尽くして参ります。

新年は、1月9日（火曜日）から通常営業とさせていただきます。

令和6年元旦

地価に関する公的情報提供のタイムスケジュール

令和6年3月中旬 地価公示（国土交通省）

昨年は、全国平均では住宅地・商業地のいずれも2年連続で上昇し、工業地は7年連続で上昇し、上昇率が拡大しました。

令和6年7月 相続税路線価（国税庁）

鑑定評価による相続財産の適正評価で、お役に立ちたいと思っています。

令和6年9月中旬 地価調査（都道府県）

昨年は、全国平均では住宅地・商業地のいずれも2年連続で上昇し、上昇率が拡大しました。新型コロナの影響で弱含んでいた地価は景気が緩やかに回復する中、地域や用途により差があるものの、地価の回復傾向が全国的に進みました。



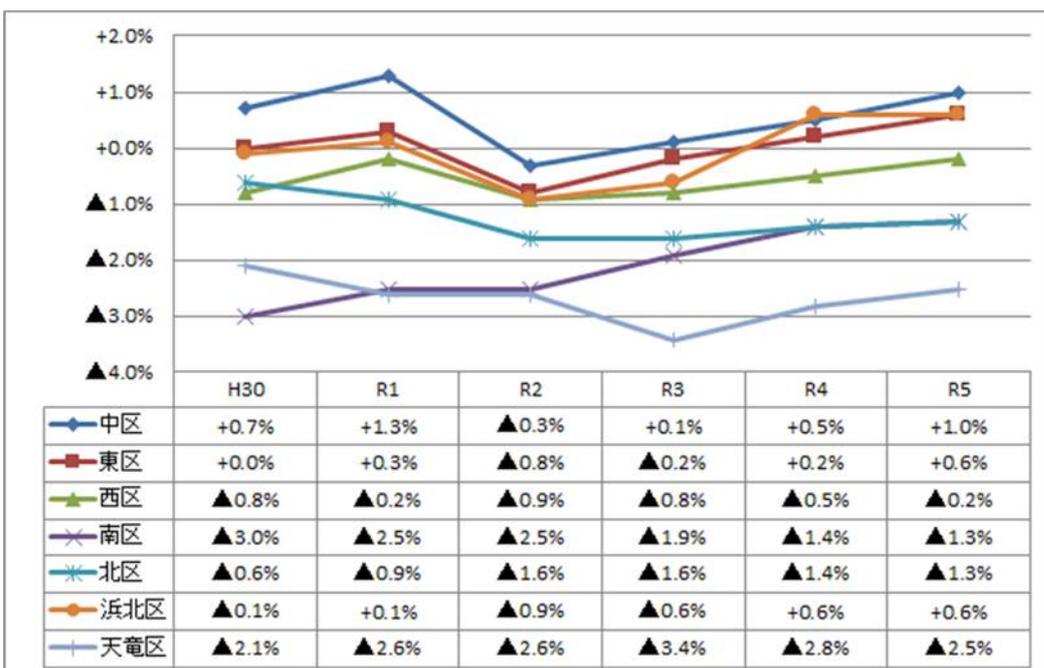
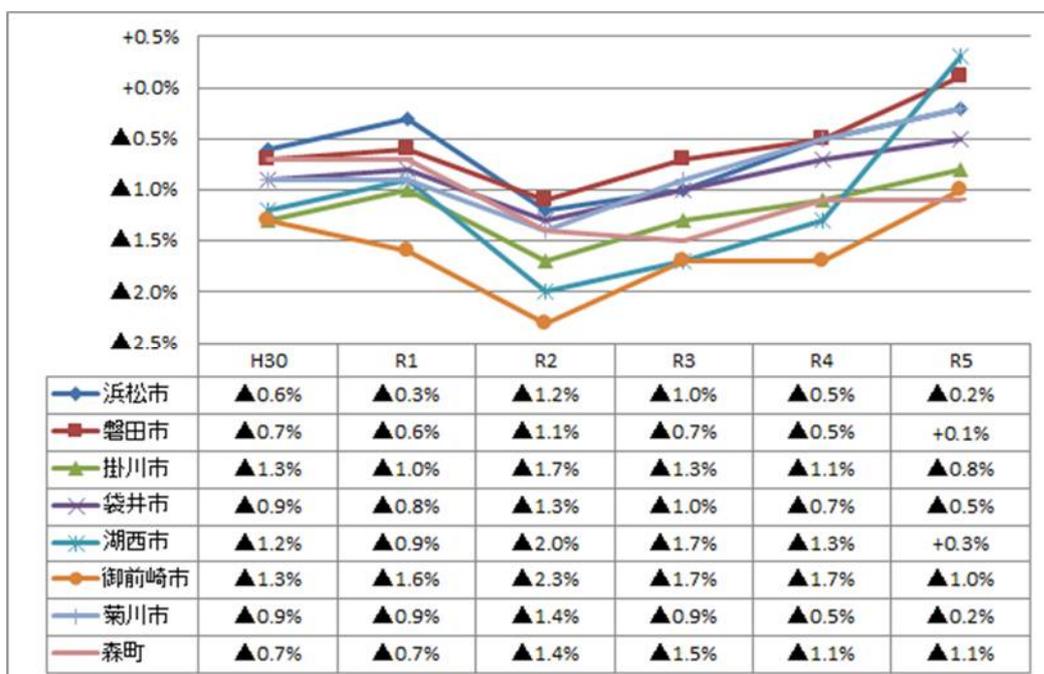
木村 満義
不動産鑑定士

どうなる？令和6年の地価

最新の地価調査から、静岡県西部の地価動向を見ていきましょう。

まずは住宅地から。

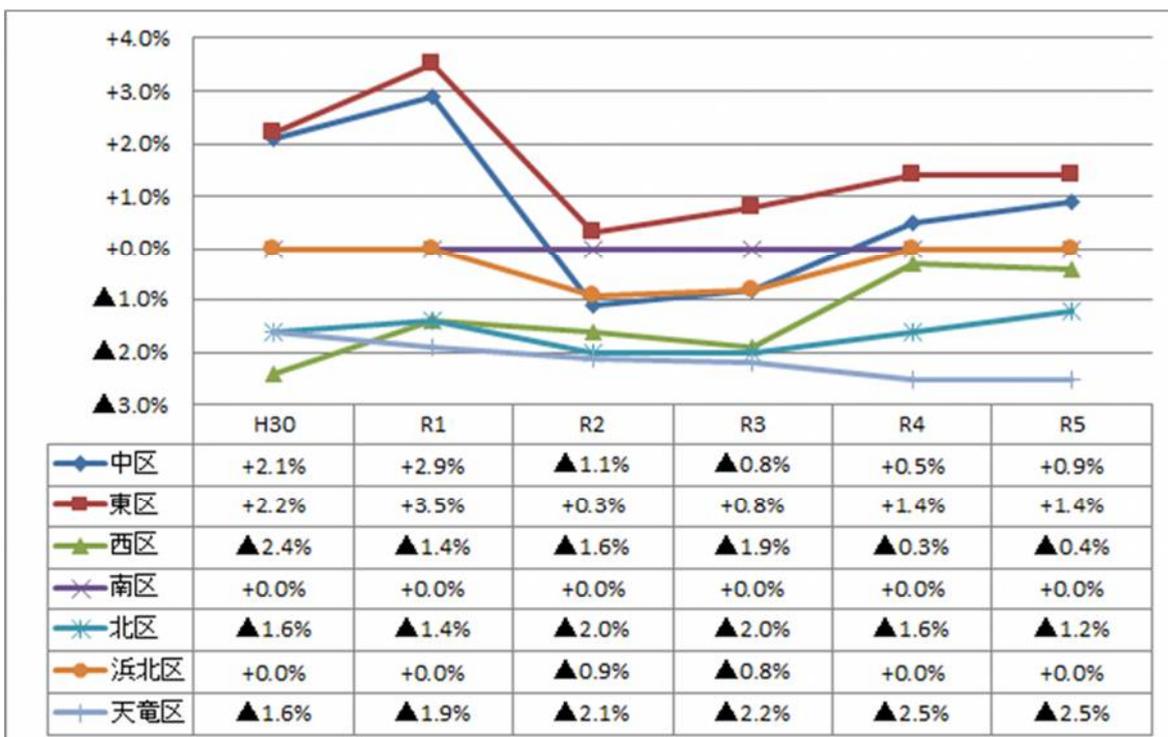
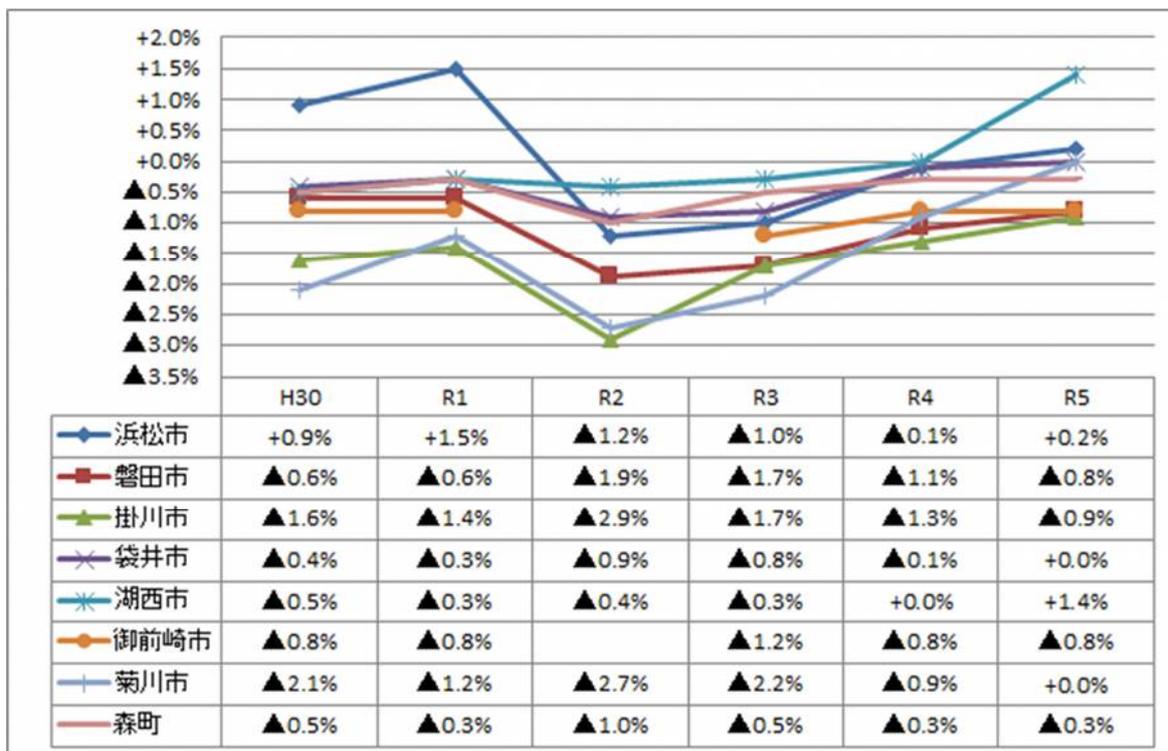
平均変動率は、森町を除いて、全て市で右肩上がりとなりました。湖西市と磐田市は上昇に転じています。浜松市中区・東区・浜北区は上昇に転じました。



どうなる？令和6年の地価

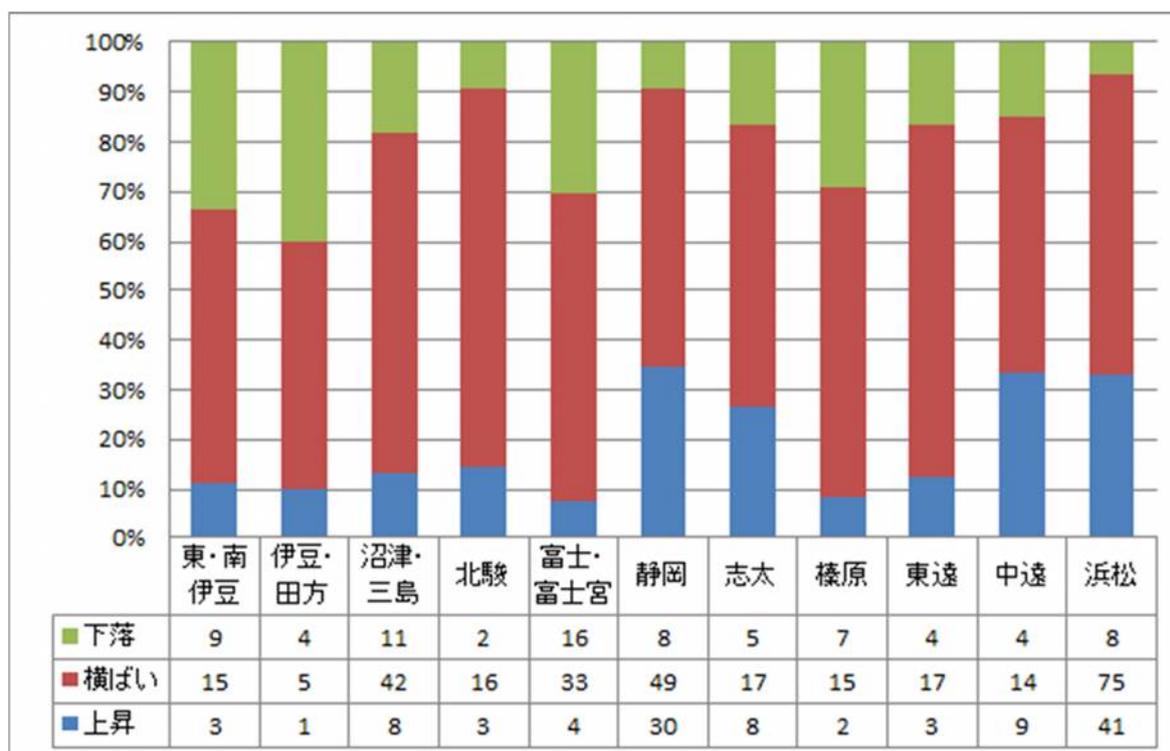
次に、商業地を見てみましょう。

浜松市が上昇に転じ、袋井市と菊川市が横ばいとなりました。浜松市内をみると、住宅地と同様に中区と東区が好調です。



県内の不動産業者様に聞きました「どうなる？令和6年の地価」

県内の不動産業者様に「6カ月後（令和6年4月）、地価はどのように予想しますか？」とのアンケート調査を行ったところ、480件以上の回答を頂きました。



【静岡県不動産市況DI調査】

上昇するとの回答は、112件で全体の約23%でした（昨年の調査では約17%）。

横ばいとの回答は、298件で全体の約61%（同約60%）でした。

下落との回答は、78件で全体の約16%（同約24%）でした。

上昇が増え、下落が減少しました。

詳しい調査結果は、静岡県不動産鑑定士協会のホームページでご覧頂けます。

編集後記

2023年を振り返ると、本当に忙しい一年でした。コロナ禍から回復し、社会経済活動が正常化してきたことを肌で実感しました。何より、仕事を頂けることは、本当にありがたいことです。感謝です。

2024年を迎えました。世界が平和でありますように、皆さまが健康に守られ、実り多き一年になりますように、心からお祈りしております。（木村）